

暮らしを支える道づくり

整備事例

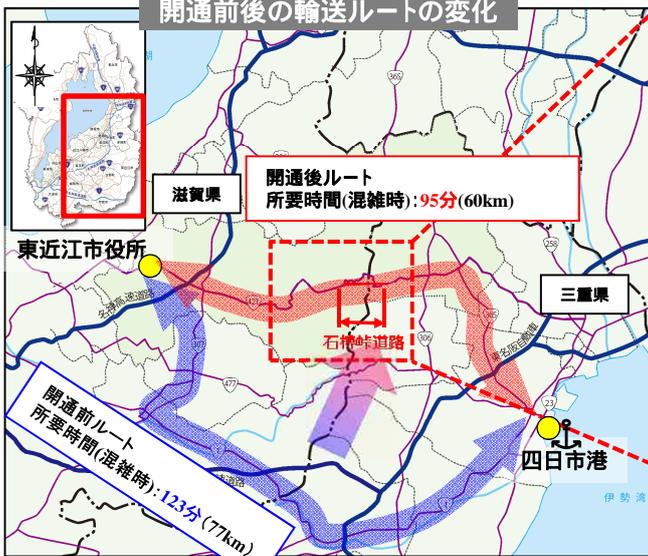
県際道路のバイパス整備により、信頼性の高い道路交通を確保し、地域間交流が活性化

～国道421号(東近江市)～



- ・狭くて勾配が急な危険箇所回避により所要時間が大幅に短縮するとともに冬季閉鎖区間も解消し、地域間交流が活性化
- ・新たな輸送経路の確保、観光、救急医療にも貢献

開通前後の輸送ルートの変化

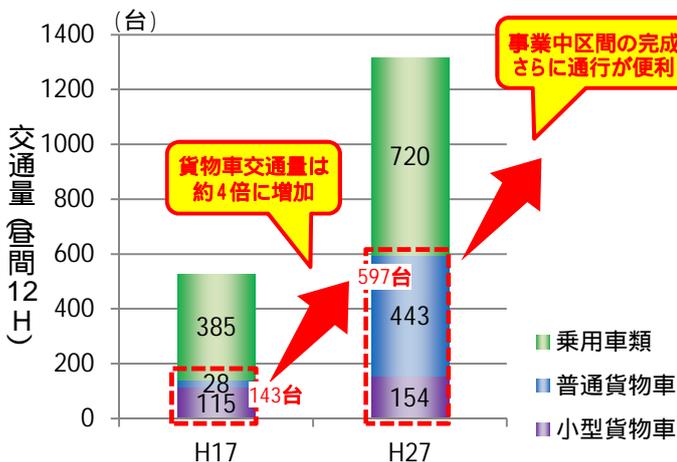


事業箇所拡大図



交通量の変化

【国道421号(石樽峠道路)】



地域の声



・整備前は、四日市港まで国道1号を利用していたが、現在は石樽峠道路ルートを利用しています。輸送時間の短縮、定時性の確保により経費削減、安定した燃料供給が実現しています。



・開通前は、三重県側への搬送実績はありませんでしたが、開通により三重県側への搬送が可能となり、救急活動の幅が広がりました。



・開通により東海圏から来られる車が多くなりましたが、未だ離合困難な箇所があり、敬遠している大型車もいるようなので、今後の整備進捗に期待しています。